

昔の遊びを体験してみよう

11月12日(水)、城南小学校で昔の遊び交流会が行われました。

児童たちは交流会に参加した地域の皆さんからコマ回し・あやとり・竹トンボ・お手玉の遊び方を学び、班に分かれて実践。最初は苦戦していたものの練習を重ねるにつれて上達していき、昔の遊びの難しさとともに遊ぶことのおもしろさを感じていました。



元気いっぱいちびっこまつり

11月28日(金)、西田布施公民館でたぶせちびっこまつりが開催されました。

会場に訪れた子どもたちは、様々な色の手形を取って持ち帰ったりボールのプールやトンネルでたくさんのお友達と遊んでいました。

最後に行ったアンパンマン体操では、音楽に合わせて足踏みや手拍子をして盛り上がり、笑顔あふれるまつりとなりました。

たぶせウォークラリー大会開催

11月3日(月)、来年度開催される「ねんりんピックおいでませ!山口2015」のリハーサルを兼ねた「たぶせウォークラリー大会」が、田布施町商工会館をスタート・ゴールとする町内特設コースで開催されました。

天候にも恵まれた中、コマ図を頼りに出場10チームが完歩し、高齢者の部上位3チームが来年度のねんりんピック出場を決めました。



田布施の特産品を集めました

11月22日(土)、田布施町特産品試食販売フェアが、高齢者いきいき館前で行われました。

田布施町観光協会「特産品委員会」が主催のこのイベントでは、いちじくを使用したパンやジャムの他に、町内の製麺所で作られたラーメンなどの珍しいものも用意されており、多くの来場者で賑わいました。





乳がん触診モデルの寄贈

10月25日(土)、周東総合病院(柳井市)の「第7回来てみんな感謝祭」において、同病院から田布施町に乳がん触診モデルが寄贈されました。

このモデルは、触診感覚が生体乳房に酷似しており、乳がん・繊維線種・乳腺症のそれぞれの違いを区別できます。人体に近い状態で触診ができるので、自己検診を学ぶのに最適な教材です。

なお、田布施町に寄贈されたモデルは同会場において田布施町母子保健推進協議会に貸し出され、

乳がん自己検診の普及啓発に向けた取り組みに活用されます。保健師が地域へ出向いて健康教育を行いますので、保健センターへご連絡ください。



城南小4年生が、ホタルの放流

10月30日(木)、城南小学校4年生が、森国川にホタルの幼虫を放流しました。

ホタルの放流は、総合学習の一環として平成12年度から毎年実施されています。参加した児童は、ホタルの生態について説明を受け、大きくなったホタルの幼虫をじっくり観察した後、「来年の春にはまた会おうね」と願いを込め放流しました。

L P ガス協会と災害協定を締結

11月14日(金)、山口県L P ガス協会柳井支部と災害救助物資確保協定調印式が行われました。

この協定は、大規模災害が発生した際、町からの支援要請に基づきL P ガスなどの調達・供給を行うものです。こうした災害協定は、マックスバリュ、ナフコ、コメリ、コープやまぐちとも結んでいます。



高齢者交通事故防止メッセージ伝達

高齢者の交通事故防止に向けて、11月17日(月)、田布施町交通安全母の会の4人が県知事からの交通安全メッセージを町長に届けました。

町では、「年末年始の交通安全県民運動」の期間である12月10日(水)から1月3日(土)の間、子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転の根絶、スピードダウンの推進などを呼びかけることとしています。